

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年5月17日

2005年5月15日現在の概況：

前週に引き続き5月15日に終わる週でも、州の全ての気象観測所にて降雨を記録した。海岸地方では2~5インチの降雨量を記録した。気温は平年を上回り推移し、NC地区の各観測所での平均気温は2~7度F平年を上回った。Willamette盆地に於いても同様気温は平年より高く、最高気温は72~77度Fであった。降水量はMoro観測所にて1.22インチ、Pendleton観測所では0.85インチを記録した。Wasco郡では1.25インチに達した。強風も伴ったことより、小麦圃場での薬剤散布は行えなかった。Sherman郡に於いても連日有効な降雨があった。Morrow郡では小麦の単位収量は20~50ブッシェル/エーカーと予想された。Topsoilの土壌水分は改善したが、Subsoilの水分は減少した。1週間の州平均農作業稼働日数は3.6日(前週:4.1日)であった。NC地区の冬小麦は出穂中。春小麦の播種は降雨で進まず、前週と同じ98%完了の俣であった。播種期の土壌水分が不足していた圃場での春小麦の出芽ごの生育が遅れている。作柄評価は冬小麦、春小麦共に前週より多少落ちた。病害の報告は無いが、Wasco郡でアブラムシの発生が報告された。

土壌水分：5月15日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	0	11	82	7
Subsoil (%)	12	26	60	2

小麦生育状況：5月15日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Planted (%)	98	98	98	97
Emerged (%)	88	82	88	81
Winter wheat Headed (%)	23	8	26	14

小麦の作柄状況：5月15日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat This week (%)	2	7	37	49	5
Last week (%)	1	7	34	51	7
Spring Wheat This Week (%)	0	14	44	37	5
Last Week (%)	0	16	40	38	6

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>